

「随時募集」の戸数を大幅に増やして

予算議会での経済建設常任委員会の審議の紹介。第2回は市営住宅を中心に紹介します。

入居者がどんどん減る!?

当初予算で見込む市営住宅入居戸数		
5年度	6年度	7年度
4,219	4,014	3,892

ちよつと驚く数字。なんと5年度比べ入居世帯が327世帯、7・8%も減ります。でも、5年度の年間申し込みが411件ののに、入居できたのは87件のみ。空き家が増えも納得できない数字です。

定時募集で埋まらないなら
随時募集に回す

市も問題と考えていて、年2回の定時募集で住宅に空きがあれば、随時これを募集することにしました。先着順で、しかも単身世帯が空きの多い一般向け住宅も申込みると条件を緩和しました。



市営住宅の家賃の減免が分かりやすくなりそうです

物価高で市営住宅の家賃が重い負担になっています。減免制度はありますが、自分が対象になるかどうか分からないため、敷居が高いものになっています。

そこで、一人世帯なら●●万円、二人世帯なら●●万円など、年間収入の目安を明記して、入居者に知らせたり、ホームページでも知らせるよう求めました。

実際に北見市では、そうした目安を示していて好評です。市もこの提案には前向きで、検討することになりました。



村上議員の提案

釧路地区は11戸だけ!?

しかし随時募集は釧路地区では年間で武佐4戸、柏木3戸、大楽毛4戸のみ。これで打ち止め。しかも大楽毛はもともと人気のある団地ではなく、4戸募集しましたが入居はゼロ。



- ①市は修繕済みの住宅しか申込みを受け付けません。そうではなく、修繕していない住宅も広く随時募集して、申込があつたら修繕すること。
- ②募集するならエレベーターのある便利な住宅を優先して。

そうすれば、入居戸数は大幅に増えます。要は修繕予算を増やすことです。